



ハイサイ 沖婦連会長でーびる 與那覇 信子



厳しい暑さが続いておりますが、皆様にはお変わりなく元気で過ごしていることと存じます。

開催一年延期、緊急事態宣言、会場無観客の中でのTOKYO五輪。沖縄発祥の空手が初めてオリンピック種目に採用されて、男子形で沖縄初の金メダルをもたらした喜友名諒選手の強く美しい演舞、鮮烈な印象で「すべてに感謝」との言葉に感動し涙し元気を頂いた私でした。

さて、新型コロナウイルスの感染者は過去最多ニュース、このままでは九月中も緊急事態宣言再延長の兆しです。沖婦連主催事業(理事・代議員会・中央研修・婦人の主張中央大会・産業まつり・健康づくりフェスティバル・全琉婦人芸能大会等々)やむを得ず変更中止を余儀なく、皆様に大変迷惑をかけ申し訳なく思っています。状況判断を進めてまいりますのでご了承お願いいたします。

七月から開始した、女性の健康づくり支援事業(ナプちゃん無料配布)は、八月三十一日で終了いたしました。配布協力頂きました名護市、沖縄市、宜野湾市、浦添市、那覇市の会員の方々に感謝申し上げます。

生理用品は女性の健康に関わる大切なものです。他の個人や団体等においても関心を示し、支援の輪が広がっております。社会問題(学校現場において必要の声を多く聞きました)として取り上げ課題解決につながることを願っています。

自粛生活で人との繋がりが困難な状況下です。「チャタンヤラ クーサントー」チャットいきましよう。

気合

発行(一社) 沖縄県婦人連合会
 発行者 與那覇信子
 所在地 那覇市大道172
 電話 098-884-5333
 FAX 098-884-5343
 メール okifuren@wakwak.com
 編集 広報部

女性の健康づくり支援事業

(6,240 セット配布) 期間 7月5日~8月31日

目的
 沖縄県は、平均収入、離婚率、子どもの貧困、全国ワーストとしており、平均収入に比較し生活のコストが割高で車社会でもって車の維持費や住居費の高額により家計が圧迫されてしまっています。特に今年はコロナ感染症拡大によって、女性が大きな影響をうけています。経済的な理由により生理用品が入手困難となった女性たちへ無償配布し多くの女性が社会で安心して学び、働き、心身ともに健康的な社会生活を送ることができるよう支援事業としました
 (沖縄県 11 箇所 で配布)

令和3年度新任役員

- 監事: 黒石 高子
 理事: 喜納 武子
 照屋 冴子
 川平 孝子
 代議員
 大宜味村: 宮城みゆき
 北中城村: 安里 恵
 宜野湾市: 宮園 峰子
 那覇市: 喜納 武子
 浦添市: 照屋 冴子
 石垣市: 川平 孝子



新型コロナウイルスの影響で経済的困窮が深刻化する中、生理用品が十分に手に入らない女性を支援しようと県婦人連合会は5日から、約4300人分を無料で配布する。県婦人連合会は生理用品女性にとって食料と同様に大切なもの。必要な方はぜひお申し込み、もらいに来てくださいと呼びかけた。

生理用品4千人に配布へ

県婦連 5日から11カ所まで
 社業団と共同で実施する。配布場所は那覇市大道の婦人連合会館など県内11カ所。1人分は約400円。県婦人連合会は、生理用品を無料で配布する。配布を終了する。県婦人連合会理事長らからお金がなくて生理用品を買うのが難しい。交換する枚数を減らしたため、ティッシュなどで代用している。女性の実態を聞いた。交換場所が少ないと感染症のリスクもあると懸念し、支援で、女性が安心して学び、働ける社会にしたいと訴えた。

近年のパンデミックによって「生理の貧困」が表沙汰になっていきます。生理用品を十分に購入できない問題は以前から存在していましたが、この支援は、一括性のものでなく継続的な支援を必要としている。今回の事業をきっかけに女性たちに目を向け誰かが不安なく生理用品を手に入れる社会へと変わる必要がある
 沖婦連

- 成果
- ・各地域でボランティア支援者への協力ができた。
 - ・小中学校へ支援ができた。
 - ・継続してほしい(多くの声が寄せられた)
 - ・マスコミに生理の貧困についての問題を提言
 - ・生理の貧困に対する支援の輪が広がった。

SDGs考える

※女性の健康づくり支援事情に対し多くの賛同が寄せられたのでナプちゃん追加購入し配布できました。



名護市女性会では沖婦連事業と同調する形で生理用品の配布を市社協の全面的なバックアップの下会員の皆さんの口コミと広報誌での周知図りつつ実施。配布: 480セット



宜野湾市婦人連合会では、他の団体メンバーのご協力でもってSDGsの①貧困をなくそう ②すべての人に健康と福祉をとのことで「誰も置き去りにしない社会」にむけて、県婦連の今回の取り組みは素晴らしいと思います。配布: 576セット



沖縄市女性連合会は、ナプちゃんセット配布取り組みは地域婦人会の力を借りて必要としている人たちに届ける事、他の団体など地域連携でスムーズに配布しました。配布: 480セット



那覇市婦人連合会長による民生委員の力をお借りして、社協・民児連、近くの小学校に連絡を取り配布し、不在時に備え隣のブースの市P連、市子連にお願いし個人への配布にご協力頂きました。配布: 552セット



浦添市婦人連合会市内の小中学校のコーディネーターをご紹介頂きナプちゃんセットの配布を進めていましたが、企業団体よりの生理用品寄贈が増えたこともあり、地域の公民館などに配布、事務所には親子での受取も多くありました。配布: 480セット



石垣市婦人連合会は8月28日、29日同会事務所前で無料配布活動を展開した。50代女性は10代の娘と一緒に訪れ「母子家庭なのでありがとうございます」と感謝。配布 72セット

いま、かがやいて活動している女性たち



★令和三年度各地域(二四)市町村の会長を紹介いたします。

コロナ禍の中、各市町村の活動等もままならない状況下でも、会長として組織を大切に、各人が前向きに行動し、出来る事を、出来る時に、楽しく婦人(女性)パワーが感じられるコメントが多く寄せられました。



本部町婦人連合会
会長 山城 幸恵
「楽しい♪が一番」

ソーシャルディスタンスが言われるほど、人との繋がりの大切さを実感し求めている会員が多いと感じます。本部町婦人連合会は「楽しいが一番」をモットーに、地域の女性たちとの繋がりを広げる事が出来る、楽しい企画に取り組みで行きたいと思っております。



名護市女性会
会長 西平さと子
「一人ひとりの力を繋ごう」

名護市女性会は事業の推進もままならない現状において、会員一人ひとりの力を併せながら進んで行こうと話し合いました。一歩づつ一歩づつ。お花を愛でると心も身体も晴れ晴れ、花壇整備を欠かさず気持ち良い汗をかいています。健康で豊かな生活を過ごしましょう。



伊江村婦人会
会長 玉城 綾子
「イーハッチャー精神を受け継いで」

イーハッチャー精神「負けん気・不屈の魂・進取の精神(何事も恐れずにチャレンジする)」を受け継いで、活動に取り組んでいます。前年度は「花園コンクール」と「ソフトバレーボール大会」を開催し、会員の親睦を深め、地域活性化に貢献できました。現在は厳しい状況ですが、婦人パワーを発揮して皆で乗り越えましょう。



恩納村婦人会
会長 勅使川原 雅江
「コロナ禍の今出来る事」

昨年より続くコロナウイルス感染症によりほとんど活動出来ない状況の中、脱会した地域もあり、しかし村婦人会としては脱会を後悔させるような楽しく魅力のある活動をしていこうと考えてます。そのために会員の皆さんの意見を聞きながら、コロナ終息後の活動にむけて、研修や講座等の情報収集をしています。



沖縄市女性連合会
会長 久高 清美
「コロナ禍で変化する活動」

コロナ禍で先が見えない中、急速な社会の変化に伴い私たちの活動も変革が必要です。しかし、一人一人が関心を持って行動することは今も昔も変わりません。今出来る事は何か。情報発信して会員増を図り、地域とつながり、住みよい街づくりのため女性パワーを発揮してまいります。



読谷村婦人会
会長 伊佐ちえ美
「出来ないから出来るへ」

二〇二〇年は「新型コロナウイルス」によって全国的に緊急事態宣言下で活動が出来ない中、新しい生活様式を取り入れ、婦人会会員増にも繋がるような新発想での展開をめざし、SDGs「持続可能な開発目標」にも取り組み、すべての婦人、地域への周知はもちろん、その力を結集して、前向きに婦人会活動の活性化を目指していきます。



北中城村婦人会
会長 安里 恵
「会員の要望に応えた取り組みを」

今年度から新会長になりました安里です。昨年度はコロナ禍の中で様々な制約を受けながらも、マスクの制作や子どもたちの登校時の交通安全指導、また新一年生へのお守り作りなどを行ってきました。今年には会員の要望に答えた取り組みや地域への貢献事業を展開したいと思っています。



宜野湾市婦人連合会
会長 宮園 峰子
「次世代につなげよう!!」

創立70周年記念誌の発行と、ともに、コロナ禍となり「してはいけない」から「出来ること探し」をしております。モットーは「太陽の心で、地域へ、勇気と笑顔を!!」「だれも置き去りにしない」地域、次世代へとつながりを広げてまいります。



那覇市婦人連合会
会長 喜納 武子
「コロナ禍を乗り切ろう」

コロナ禍の中「今年こそは」と例年通りに計画をたてました。ワクチン接種の効果を期待し、婦人会員が減少しつつある昨今、今何が出来るかを模索しながら前進すべき時と考えています。百周年を迎える那覇市が益々栄え明るい歴史が刻まれる様、私たち婦人が夢と希望を次世代に繋げる努力を惜しまず楽しく活動を続けます



浦添市婦人連合会
会長 照屋 冴子
「太陽に輝く浦添の街」

今年の活動目標の一つである、「詩舞浦添八景」学びながら婦人会員一人一人の絆の輪を広げていき、多くの市民に引き継がれる舞となりますように「詩舞 浦添八景」に取り組んでいきます。恒例の「だこまつり、健康フェスティバル」に向けてレクの稽古、花と緑の豊かな明るい住みよい地域づくりにも取り組んで人と人の絆を深め、太陽の輝きを広げていきます。



久米島町婦人会
会長 上江洲 幹子
「人と人を繋ぐ婦人会」

久米島では環境保全活動として、本来捨てられるはずだった、まだ使える物を譲り合う、リユースイベントを婦人会が主催して実施致しました。また、島外に住む久米島ファンへ向けたファンクラブの運営も行い、コロナで行き来が出来ない状況での情報発信を行っています。人と人を繋ぐ活動で久米島を盛り上げていきます。

いま、かがやいて活動している女性たち



北大東村婦人会
会長 多和田利江子
「心を新たに」

北大東村婦人は令和三年度役員改選の年。何度が協議を重ねた結果、会長を始め同役員で継続していくことになりました。今年度はスローガンに掲げている「花と緑で住みよい環境づくり」を再確認し、無理なく出来る活動を進めて行きます。コロナ禍で活動の出来ない今を充電の時期とし、世の中が落ち着いた時に心を新たに、会員一同元気に頑張ってまいりたいと思います。



南大東村婦人会
会長 伊波美江子
「村の行事に添って活動を」

休会を余儀なくされていた会を村の要請を受け、再出発から早十二年、活動は主に村の行事に添って行っています。昨年は世界中がコロナウイルスと戦う中、本村もすべての行事が中止となり会活動も滞りました。会の存続を図るには村の行事は不可欠です。早目のコロナ禍の終息を願い会活動を盛り上げ、豊かな村作りに貢献を!!



与那原町女性会
会長 新垣千鶴子
「あなたも輝いてみませんか」

与那原町女性会は、社会状況に合わせて婦人会から女性会に団体名を変更し、十一年目になります。これまで、会員の意見を聞きながら一人一人が自分みがきの場になれるような活動を計画コロナ禍においても、模索しながら工夫と努力で取り組んでいます。「いちやりばチヨウデー」出会えば皆兄弟の親しい仲間の活動を通して会員の自分みがきに輪を広げて行きたいと思えます。



南風原町女性連合会
会長 金城美津子
「これからの女性会活動を考える」

昨年はコロナ禍にあり、多くの団体が活動の自粛を余儀なくされ、思うように活動ができませんでした。コロナの終息を願うばかりで、南風原町は共働きや子育て世代の方が増えてきて講習会や研修会を計画しても参加者が減ってきています。若いお母さん達が興味を持って気軽に参加するにはどうしたらいいのか、趣向をかえ、子供と一緒に参加できる事業を計画することになりました。十分なコロナ対策を取りいつでも活動出来るよう準備して参りたいと思います。



八重瀬町女性連合会
会長 永山敏子
「コロナ禍の中の活動」

コロナで中々集まれない中、いろいろと工夫をして頑張っています。「新一年生に贈るキールホルダー作り」「正月用花の寄せ植え」「ウー・ジ染め」「成人式典用花植え」等。おもしろい屋外での活動を行っています。今年は長引く自粛生活の中、困っている子育て中の人のために食品を集めて役立てることが出来ないか？検討中です。



宮古島地区婦人連合会
会長 島尻 清子
「女性の笑顔は、明るい未来をつくる」

創立七十二周年、伝統を守るといふことは人と人を繋がることだと信じています。たとえ、社会がどのように変化しようとなっても女性の笑顔を絶やすことなく第五十四回婦人の演芸会を十九地区婦人会が一丸となって開催します。又、エコ推進を受け、環境美化に力を入れて地域婦人の中庭拝見から学び、今では路肩や庭先が素敵に変化しつつある今日この頃です。



糸満市女性連合会
会長 玉城 よしえ
「前へ進もう!!」

新型コロナウイルスの蔓延があり活動が低迷してしまいましたが、会員役員で知恵をしぼり、市内小学校へのマスク寄贈、視察研修を実施しました。また、南部地区女性会の交通安全講演会での踊り「飲酒運転SDGs」を披露しました。そして「沖縄連SDGs」活動に関連して、会発足当初から行っている廃油石鹸作りと販売を行いました。



石垣市婦人連合会
会長 川平孝子
「笑顔が溢れる石垣島の女性たち」

こんにちはと入って来る人を「いらっしやい」「お帰り」と事務所に迎える、石垣連の仲間たち、コロナ禍でスタートがずつと遅れてしまっただが、「この仲間と出会えて良かった」と嬉しくなる。自他を高め、地域に貢献する、絆を深める「石垣連のモットー」を単位婦人会、石垣連役員、皆で目指して行きたいです。



竹富町婦人連合会
会長 宇根和子
「前進あるのみ」

目標に向けての活動の実施が思うようにいかない現実はどう対応したら良いのか、日々葛藤があります。しかし時は流れています。いかなる時も心をついに「竹垣連魂」は屈する事なく進みます。結成五十周年の節目を会員相互の意識を高めながら、培ってきた活動の学びを次世代へどう繋いで行くのか。明るい未来社会を描きながら前進あるのみ!!

宅配弁当でこどもたちの笑顔づくり

沖縄市女性連合会

居酒屋味自慢チエーンと沖縄市女性連合会は、新型コロナウイルス感染症による影響で小中学校が休校にとなっている期間中、市内で食事の確保が困難な世帯の子供たちに無償で弁当を配布。市女性連合会(久高清美会長)は6月14日から6月18日まで一日150個のおにぎりを市福祉協議会と市職員の協力により子供たちに届けられた。



ワクチン接種受付応援

本部町婦人会

本部町は新型コロナウイルスワクチン接種を高齢者2200人の受付を全庁体制で取り組んでいる、受付業務が集中する事もあり、本部町婦人会役員らが受付ボランティアで応援した。山城会長はスマートフォンで予約は手続きをすれば簡単に早くできると話していた。




私たちは医療従事者を応援します

複十字シール運動が始まります 運動期間 8月1日～12月31日

2 結核は感染するの?

結核菌は、咳やくしゃみで空気中を飛び回り、吸い込んで感染します。...




3 結核は予防できるの?

7. 結核予防薬 2. 十分な栄養 3. 十分な休息 4. 十分な睡眠 5. 十分な運動



5 日本と世界の結核

項目	日本	世界
結核菌保有率	約10%	約25%
結核発症率	約100人/100万人/年	約1000人/100万人/年



4 結核は治せるの?

適切な治療で95%以上は完治可能です。...



令和3年度の複十字シール運動が始まりました。昨年は、新型コロナウイルス感染症を恐れて医療機関や健診を受診しない人の割合が高く、今後重症で発見される人が増えることが心配されています。今回お届けした、結核常識、運動リーフレット等ご活用頂き、皆様に結核の早期受診・早期発見につなげて頂けたら幸いです。複十字シール運動の募金活動等につきましては、コロナ感染予防を最優先し状況に応じてご協力よろしくお願い致します。

沖縄県結核予防婦人連絡協議会 担当 諸見里清江




要請団体 4団体

- ・沖縄県婦人連合会
- ・県生活協同組合連合会
- ・県石油商業組合
- ・県離島振興協議会

2022年5月で期限が切れる沖縄復帰特別措置法に基づく揮発油税の軽減措置の継続を求めて、県庁の玉城テニール知事を訪ねて要請書を手渡した。那覇副会長は「ガソリン税が軽減されることで県内消費者は多大な恩恵を受けている。新型コロナウイルス感染拡大により、県民生活や県経済に深刻な影響を及ぼす中、本措置は重要な役割をはたしている」国に対して延長を要望することを求めた。

今年度も、ちふれ化粧品 1個運動 を取り組んでおります。皆様ご協力よろしくお願い致します。

ちふれ化粧品販売担当 當山千賀子

化粧品 しっとり 616円		オールインワン 美白 1210円 保湿 880円	
---------------------	--	--------------------------------	---

加入電話・INSネットの「固定電話」をご利用のお客さまへ

NTT 西日本

固定電話のIP網への移行に便乗した勧誘にご注意ください!!

事実を誤認させるセールス・電話勧誘が発生しております。勧誘された際は、事業者名やサービス名、連絡先等をご確認ください。

右記のような勧誘は **事実ではありません。**

「アナログ電話が使えなくなるので、デジタル電話への切替工事が必要になります。」

- NTT東日本とNTT西日本は2024年以降、固定電話のIP網への移行に伴い電話会社内の設備切替を予定しています。
- この設備切替に伴い、固定電話や固定電話の番号が使えなくなる、といった勧誘文句で営業をする業者に注意しましょう。

設備切替後も、お手続き不要で「固定電話(通話)」は、ご利用いただけますのでご安心ください。

「何か変だな?」と思ったら、すぐにお電話を。

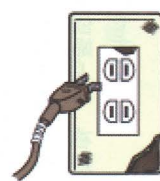
★固定電話のIP網への移行に関するご不明点はこちらへご連絡ください。
NTT西日本 問い合わせセンター 0120-190-022
[受付時間] 午前9時～午後5時(年末年始 12/29～1/3を除く)
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

令和3年度 沖婦連の事業変更

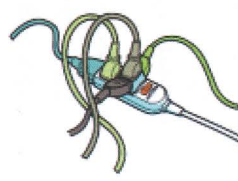
- ☆婦人の主張中央大会 第1案 令和3年10月22日(金)
- 第2案 令和3年11月19日(金) 琉球新報ホール
- ☆健康づくりフェスティバル令和3年11月13日(土) 奥武山アリーナ
- ☆交通安全一斉行動 令和3年11月26日(金) 各地区
- ☆沖婦連中央婦人研修 令和3年12月11日(土) リザンシーパークホテル谷茶ベイ
- ☆全琉婦人芸能大会 令和4年1月10日(月) 浦添てだこホール

チェックしましょう! 家庭の電気安全


こんな使い方は危険です!



傷んだプラグやコンセントは使わないようにしましょう



定格容量を超えたタコ足配線はやめましょう



ぬれた手で電気器具にさわるのはやめましょう

弊協会では、電気を安心してお使いいただくために、沖縄電力から委託を受けて、みなさまのお宅に4年に1度お伺いし、電気設備の安全調査を行っています。この調査では、「漏電はないか?」「分電盤に異常はないか?」などを確認します。安全で快適な電気使用のために、電気設備の安全調査にご協力をよろしくお願い致します。

この調査では料金を請求することはありません。調査を装ってお客さま宅を訪問し、調査料や修理代金などをだまし取る「二七調査員」による詐欺事件が発生しています。不審と思われる場合は、弊協会までご連絡ください。

電気は正しく安全に!

一般財団法人 沖縄電気保安協会
〒900-0038 那覇市西三丁目8番21号
TEL 098-866-4946(代表)